



世田谷区立砧中学校 校長室だより
令和4年 9月 7日
第 31 号
校長 大坂 崇

教育目標 「豊かな人間性の育成」		
① 集団生活における責任感と自主性を養う		
② 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う		
③ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
社会性の学び	知的的な学び	心と体の学び
自他の尊重 地域貢献	主体的な学び 学習の定着	心身の健康

全校での学校行事

学芸発表会を目指して・・・

ポイント

- 学校行事の目的
- 担任・先生の思い
- 行事への思い入れ

→ 担任・先生なりの『答え』を持つ
=「意図的な行事の取組」

《参考》学習指導要領

「学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。」

学校行事は「線」（「点」ではない） … つながり、プロットの仕方が大切
「3年間を見通したプロット」 → 学年で考える
「1年間を見通したプロット」 → 学年で大枠を、学級担任が「手段」を考える

学芸発表会に向けて

教員（担任・副担任・部顧問）として大切にしたいこと

- 協働 … 「みんなで」
- 自主自律 … 「自分たちで」
- 人権意識 … 「他者への思いやりと配慮を大切に」

全員にとっての最上位目標
・最優先事項を合意
⇒ 「みんな違っていい」と「全員がOK」を「対話」で両立

生徒への意識付けが大事！！！

- * 口頭・学級通信 → 先生の「思い」を伝える
「学芸発表会」だけでなく「年度末」までイメージ
- * 話し合い活動 → 生徒の自主的な行事の目標作り・作戦会議
- * 保護者に → 先生の「意識」を伝える
「生徒のフォロー」を依頼（学級通信などで）

- * 私が副校長に昇任した時、赴任校の校長先生は「全国公立中学校長会の会長」でした。この校長先生は、教職員に良く、こういっていました。
「理論なき実践、実践なき理論には力が無い」
教科・道徳・総合・特別活動、いずれも「何のためにするのか」が原点です。

「特別活動」は何のためにするのか ・・・自らの価値の生かし方を学ぶ

※ 特別活動（学級活動、生徒会活動、学校行事）

① 望ましい集団活動の展開と望ましい集団の育成

個性を認め合い伸ばしていく集団活動と目標を設定し協力する集団（協働・共生）

② 個人的な資質の育成

逃げたり避けたりすることなく最善を尽くして、自己の能力を発揮する（創造・挑戦）

③ 社会的な資質の育成

自分の役割は何か、自分の責任は何か自覚する。（自主・自律）

④ 自主的、実践的な態度の育成

自分がいかに行動すればよいか深く考える、感情や衝動を自ら制御する、自ら決定した行動を着実に遂行、現実に即して実行可能な方法を選択など（自主・自律）

⑤ 人間としての生き方の自覚と自己を生かす能力の育成

自分の個性や能力を理解し、それらを発展・伸長させ、人間の集団の中で自己を生かす

「学校行事」は何のためにするのか ・・・群れから民主的集団へ

※ 望ましい人間関係と所属感・連帯感、公共の精神

① 儀式的行事：入学式、卒業式、始業式、終業式、開校記念式、離任式、着任式など

有意義な変化と折り目、厳粛で清新な気分、新しい生活への動機づけ

② 文化的行事：学芸発表会、音楽鑑賞会、百人一首大会など

学習成果の発表、文化・芸術に親しむ

③ 健康安全・体育的行事：健康診断、薬物乱用、避難訓練、運動会など

心身の健全と健康、安全体得と集団行動、運動に親しむ、責任感・連帯感、体力向上

④ 旅行・集団宿泊的行事：修学旅行、移動教室、校外学習など

見聞、自然・文化への親しみ、集団生活と公衆道德

⑤ 勤労生産・奉仕的行事：職場訪問・体験、高校見学、美化運動、地域行事への参加など

望ましい勤労観・職業観、社会奉仕の精神

クラスによって手法は様々あっていい、でも、目的は同じはずです。